

莽高新聞

再刊 332 号

北海道芽室高等学校

新聞局

河西郡芽室町東めむろ

1条北1丁目6

發行責任者

奥山 惟碧

茅高にも春の風が
2名の先生が着任

杉村峰行先生は1965年11月9日生まれ。さそり座で前任高は本別高校。担当教科は、地歴公民科で担当部活はソフトテニス部、生徒会だ。

趣味は海外旅行やカメラ、時計、車など様々だ。海外旅行は、ヨーロッパや中東に行ったことがある。因みにカメラや車は、撮ったり乗ったりするのでなく、集めるのが趣味。

味。アンティークカメラやクラシックカーなどをコレクションしている。

次に、最近ハマっていることはNetflixの番組を一般的に見るのと。

芽高での抱負は、「日日は好日となるように頑張りたい」とのこと。

最後に芽高生へ「よろしく！」とコメントをしてくれた。(佐藤)

味。アンティークカメラやクラシックカーなどをコレクションしている。

次に、最近ハマっていることは Netflix の番組を全般的に見ること。

芽高での抱負は、「一日は好日となるように頑張りたい」とのこと。

最後に芽高生へ「よろしく！」とコメントをしてくれた。(佐藤

持田裕孝先生は
1968年4月19日生まれ、札幌東陵高校。担当教科は、数学科で担当部活は女子バスケットだ。趣味は走ることやウエートトレーニング。最近走っている場所は川西方面とのこと。また最近、鍛えている部分は上半身で「オーバルのトレーニング」で鍛えている「そうだ。

次に最近ハマっていることは「畑仕事」と答えてくれた。因みにトマトやキュウリを育てる予定とのことだった。

自分の性格を一言で表すと「ネチネチしている」と答えてくれた。具体的には「何で？」「どうして？」と聞いて話を深掘りするそう。最後に井高生ハ「部活に入れ！」と爽やかに呼びかけた。（佐藤）

4月に新しく芽高に杉
村峰行先生と持田裕孝先
生が着任した。そこで今
回はこの2人にインタビュ
ーした。

今回は
酢ぶパイ
たてバージョン
97

ある日、居室で好きなお菓子の話が出た時の話

局員S「好きなお菓子何？」

局員Y「ポテチが一番」

局員S「俺はあれかな、」

大草原！」

局員O「大草原……？なにそれ」

局員K「あれじゃない？六花亭の大平原」

局員全員「大草原って……」

草生えるわw w」
こうした間違ひ・勘違
いが局室では多発。これ
は疲れたらうか。ああや
はり新聞局は〇〇〇〇企
業……（佐藤）

吹奏
樂部

個々のスキルに磨きがかかった



3月27日、芽室中央公民館で第11回スプリングコンサートが開催された。第1部はロックMや龍潭譚などのコンクール曲を、第2部はスーパーマリオブラザーズなどのゲームメドレーやアンサンブルを、第3部は風のプロファイルやBIRDLANDなど聴きなじみのある曲を演奏した。

吹奏楽部部長の小林麗菜さん(3C)は「多

くのエキストラの方の支えもあったが前回の演奏会より個々のスキルに少しでも磨きがかかったと実感できたコンサートだった」と語った。(山口)



第2回アングラでの一幕

学年旅行
道内の歴史を学んだ

編集後記

例年は10月末頃に5
日日程で行われる2学年
(現3学年)の見学旅行
が2021年3月22日
(月)から23日(火)の
2日日程で行われた。今
年は新型コロナウィルス
の影響で例年の広島・大
阪・京都ではなく、北海
道内の釧路市・根室市を
訪れることになった。
1日目は釧路市内でそ
れぞれ昼食。次にフイツ
シャーマンズワーフ、釧
路市丹頂鶴自然公園を巡
り、あかん湖鶴雅ウイン
グズに宿泊した。
2日目は北方四島交流
センターで北方領土につ
いての講話を聴き、昼食

1年生の皆さん、入学おめでとうございます。まだまだ新型コロナウイルス感染症拡大は落ち着かず、不安な日々が続きますが、肝心なのは慣れたと思います。新しい友達や部活動を通じて芽室高校での生活に慣れていきましょう。(松井)



室名物のエスカロップや
カニカレーを味わった。
その後、北方館の望郷の
家で講話と見学。そして
根室から4時間以上バス
に揺られ、コロナ禍での
見学旅行は無事終了した

(松井)

副局長	長尾 沙和 (2D)	佐藤 力也 (2B)	山口 和真 (2B)	奥村 愛可 (2C)	木村 空 (2D)	松井陽花莉 (2D)	石森由香利	横濱 優子
顧問								

カメラ・車・時計のことならお任せ☆
杉村 峰行先生



ファーマーもっちー
持田 裕孝先生

